

2021 年度 個人研究実績・成果報告書

2022 年 3 月 26 日

所属	商経学部	職名	准教授	氏名	安藤 崇
研究課題	環境マネジメント・コントロール・システムの上位・下位構造の研究				
研究キーワード	環境マネジメント・コントロール、環境予算、 環境経営理念、環境戦略、環境計画	当年度計画に対する 達成度	1.目標を超える研究の進展・成果を達成した		
関連する SDGs項目	8.働きがいも経済成長 も	12.つくる責任 つかう 責任	14.海の豊かさを守ろう	15.陸の豊かさを守ろう	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>本年度は環境マネジメント・コントロール・システムの展開の上位システムやサブ・システム、そしてそれらの関係性を検討する予定であった。具体的に今年度は2つの研究を行う予定であった。1つは環境予算に関する研究である。本年度は日産自動車の事例研究に関して学会発表を行った。また企業の中期経営計画・環境行動計画と、年次の（環境）予算は密接に結びついている。そのため2つめの研究として、経営理念と環境理念、長期環境計画と環境戦略の関係・階層性に関する研究を展開した。環境マネジメント・コントロールは基本的に環境戦略を実現する仕組みなので、まず前提条件や上位構造を明らかにすることは重要な作業であった。事例企業はソニーグループとし研究成果として取りまとめた。発刊は次号の『千葉商大論叢』を計画している。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】 なし。</p> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <p>① 「内部環境マネジメント・コントロール・システムの構造：キャノンを事例として」『千葉商大論叢』第59巻第2号.83-99頁.2021年11月。</p> <p>② 「CSVをもたらす企業システムの構造分析：ネスレ日本を事例として」『千葉商大論叢』第59巻第3号.2022年3月。</p> <p>【学会発表等】</p> <p>① 「コミュニケーションによる企業内外の環境マネジメント・コントロール・システムの統合：大和ハウス工業の環境目標斉合性の検証」日本管理会計学会 2021年度年次全国大会：学会創立30周年記念大会（長崎県立大学）＊ウェブ開催</p> <p>② 「企業の環境戦略の実現に向けた予算実践：日産自動車を事例として」日本原価計算研究学会 第47回全国大会（同志社大学）＊ウェブ開催</p> <p>3. 主な経費 書籍費である。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等） 特になし。</p>					
（本文は2ページ以内にまとめること）					